



星空通信

2024年7月号

- 1日 土星が留
- 3日 海王星が留
- 6日 新月
- 14日 上弦
- 21日 満月
- 22日 水星が東方最大離角
- 25日 土星食
- 28日 下弦
- 31日 みずがめ座
δ(デルタ)南流星群極大

用語解説

外合…地球-太陽-内惑星と並んだ時
留…惑星が順行⇔逆行へ変わる時、地球から見た天体上で、太陽からもっとも離れる瞬間。
東方最大離角…地球から見た天球上で、太陽の東側にもっとも離れる瞬間。地球上から見ると西の空に見える。

★今月の惑星情報★

水星

日の入り後の西の空で高度を上げ、22日に東方最大離角となる。7月10日～16日までの明るさは0.0～0.2等。下旬には徐々に高度を下げ、観察が難しくなる。

金星

日の入り後の北西から西の低空にあり、明るさは-3.9等ですが、見かけの位置が太陽に近く、観察は難しい。

火星

おうし座を東に移動。中旬にはおうし座に移る。日の出前の東の空に見え、明るさは1.0等～0.9等。

木星

おうし座を東に移動。日の出前の東の空に見え、明るさは-2.0～-2.1等。

土星

1日には留となり、以後はみずがめ座を東に移動。留の頃には、星空の中での土星の動きが止まったように見える。真夜中頃の南東の低空に見え、明るさは0.9～0.8等。

夏休み(7/20～8/25、7/8は休館日)は自由開放!ぜひ来てね!

みずがめ座δ(デルタ)流星群

流星出現期間	極大	極大時1時間あたりの流星群
7/12-8/23	7/31頃	3

7月中旬から8月中旬頃に活躍する流星群です。ほぼ一晩中観察できますが、放射点が少し高くなる午後11時頃から好条件となります。この流星群は、北群と南群に分けられる場合もありますが、現在は、南群だけがほぼ観察されており、南群だけを「みずがめ座δ流星群」と呼ぶことが多いです。